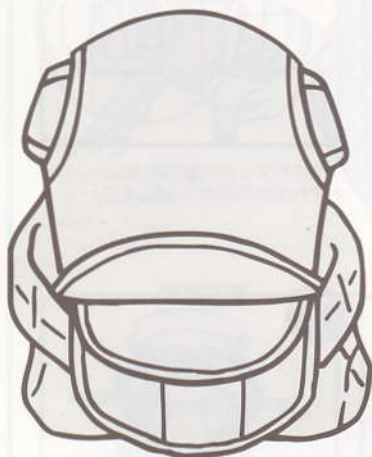
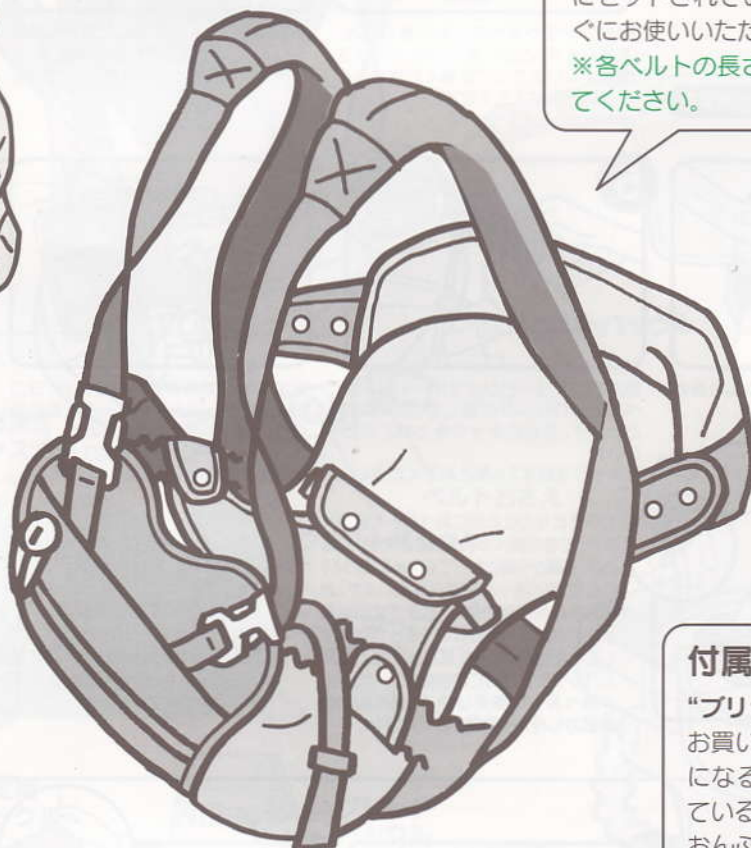
生まれてすぐからの
スリーウェイタイプ

取扱説明書

ご使用になる前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、**取扱説明書は必ず保管してください。**
本品を他のお客さまにお譲りになるときには、必ず取扱説明書もあわせてお渡しください。

箱から
取り出して
広げると…

箱から出したら、すぐに使えます。

本品は、あらかじめ**"ヨコ抱っこ"**ができるようにセットされていますので、箱から出したらすぐにお使いいただけます。
※各ベルトの長さは、からだに合わせて調節してください。

付属品をご確認ください。

"ブリッジテープ"
お買い上げになってはじめてお使いになる前に、ブリッジテープが入っているかを必ずご確認ください。
おんぶの時に使用します。

安全にお使いいただくために。

●使用いただけるお子さまの年齢は、
ヨコ抱っこ……………0ヵ月から6ヵ月(体重8kg)頃まで
対面抱っこ……………首がすわってから12ヵ月(体重11.3kg)頃まで
おんぶ…………………首がすわってから30ヵ月(体重14.9kg)頃まで
●ヨコ抱っこは、必ずスリーピングサポート、すやすやマット、ヨコ抱っこ用セーフティベルト、ヨコ抱っこ用セーフティカバーを使用してください。
●ヨコ抱っこは、必ず後頭部と臀部を手で支えてください。
●対面抱っこ、おんぶは、首のすわらないお子さまには使用しないでください。
●対面抱っこのスリーピングサポートは、12ヵ月(体重11.3kg)頃までとしてください。
●対面抱っこは、必ず手で支えてください。
●バックル、ホックは、確実にとまっているか確認してください。
●使用の際は、走ったり、跳んだり、極端な前かがみ等、無理な姿勢はぜったいにしないでください。

⚠注意

●授乳後、約30分間位、または連続2時間以上の使用はしないでください。
●使用の際は必ず使用者のからだにあわせて各ベルトとテープを調節してください。
●ベルト先端の返し縫い部は、ほどいたり、切り落としたりして使用しないでください。
●お子さまの出し入れは、安全な場所で必ず腰をひくくした姿勢で行ってください。
なお、他の人に手伝ってもらうとより安全です。
●製品を洗濯する際は、製品に付いている洗濯絵表示にしたがってください。
●やぶれ、ほつれ、傷等、または、バックル、ホック等が破損した場合は使用しないでください。
●バックルの着脱時に、お子さまの皮膚等をはさまないように注意してください。

取り扱いを誤った場合、お子さまの転落等、ケガや危険の恐れがあります。
安全に使用していただくために、必ずお守りください。

各部の名称

うら側

肩ベルト

Dリング

Dリングを使用しないときは、ゴムで収納してください。

頭当て

お子さまのからだがしっかりしてきたら、取りはずして使用することもできます。また、お子さまが眠ってしまったときはスリーピングサポート部を取り付けてのご使用もできます。

背当て部

足ぐり

スリーピングサポート部固定用ホック

肩ベルトバックル

背当て部深さ調節ファスナー

ファスナーをはずすことによって、お子さまの成長にあわせて背当て部の深さが2段階に調節できます。

ベルトおさえ

ウエストバックル

おもて側

ヘッドガード

ヨコ抱っこ用セーフティベルト

固定用バックル

すやすやマット

ヨコ抱っこに使用します。

ヨコ抱っこ用セーフティカバー

ヨコ抱っこに使用します。

ブリッジバックル

ブリッジテープ

おんぶに使用します。
肩ベルトのずれを防ぎます。

ポケット

肩ベルトの調節のしかた

肩ベルトバックルを立てるように持ち、本体側の肩ベルトをそのままヨコにひっぱります。

肩ベルトバックルを持ち、余っている側の肩ベルトをそのままヨコにひっぱります。

肩ベルトバックルのとめかた

下図を参考に、正しくバックルを差し込んでください。

◯ 右の肩ベルトバックルⒶを右に半回転ひねり、左の肩ベルトバックルⒶを左に半回転ひねってください。肩ベルトバックルをカチッと音がするまで差し込んで、とめてください。

※肩ベルトがねじれています(この状態が正常)が、装着時に親のからだにそうようになっています。

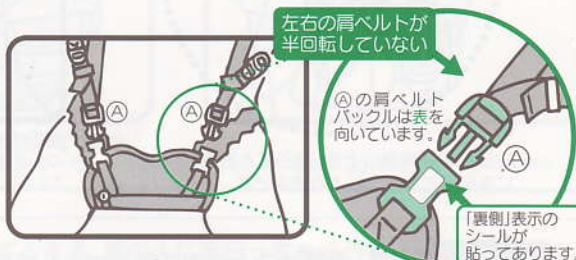
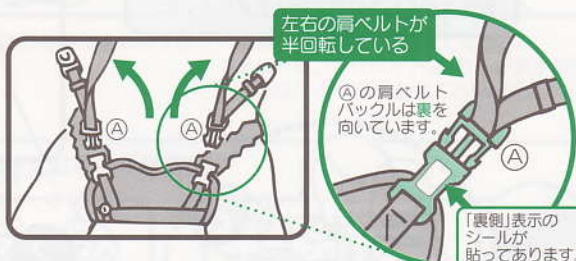
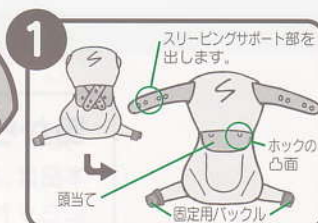
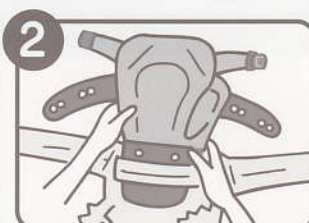
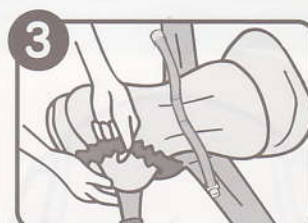
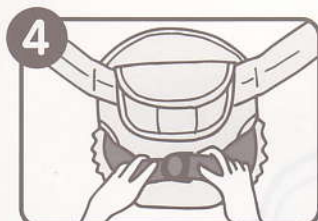
ヨコ抱っこ……………… 肩ベルトバックルの裏側が親側に向くようになります。
タテ抱っこ・おんぶ…… 肩ベルトバックルの裏側が親のからだに接するようになります。

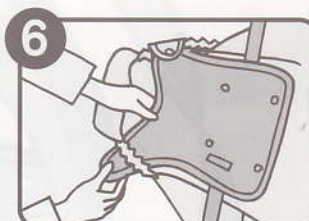
✕ **右図のような状態では差し込むことができません。**

Ⓐの肩ベルトバックルが裏表逆ですと、差し込むことができません。

ヨコ抱っこのご使用方法

※必ずスリーピングサポート・頭当て・すやすやマット・ヨコ抱っこ用セーフティベルトとカバーを装着してから使用してください。

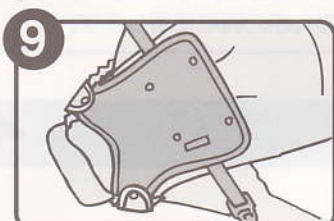
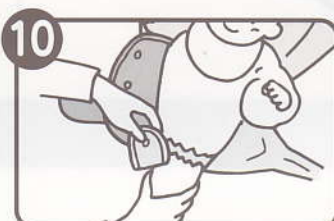
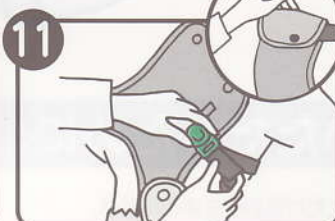
生後から首がすわる(6ヵ月=体重8kg)頃まで

●ヨコ抱っこは左抱き・右抱きのどちらでもお使いいただけます。
説明図は左抱き(お子さまの頭が親の左胸にくる抱きかた)の場合です。
●深さ調節ファスナーは、お子さまの成長にあわせてご使用ください。
※本品は、あらかじめヨコ抱っこができるようにセットされています。
⑧〜⑭の手順で行ってください。
セットされてない場合は、①〜⑭の手順で行ってください。

① 頭当てをすやすやマットに差し込み、装着します。このとき、ウラとオモテを間違えないようにご注意ください。(ホックの凸面がオモテです)

② すやすやマットに装着した頭当てのホックを、本体のホックにとめます。
※ホックは必ずとめてご使用ください。

③ すやすやマットの固定用バックルをそれぞれ左右の足ぐりに通します。

④ 足ぐりに通した固定用バックルを表側にまわし、図のようにとめます。

⑤ 頭当てのスリーピングサポート部を肩ベルトのDリングに通して、ホックをとめます。左右のホックをとめてください。
※ホックは必ず2ヵ所とめてください。

⑥ 安全な場所に本体を広げて置き、ヨコ抱っこ用セーフティカバーを左右の足ぐりに通してホックでとめます。
ヨコ抱っこ用セーフティカバーは必ず付けてご使用ください。

⑦ 左右の肩ベルトがクロスするように肩ベルトバックルを差し込みます。
※肩ベルトバックルのとめかたはP.1「肩ベルトバックルのとめかた」をお読みください。

⑧ お子さまをのせる前に肩ベルトを調節します。左右の肩ベルトを重ねあわせ、ななめ掛け(肩から脇にかけてななめに掛ける)にして、肩ベルトの長さを確認します。お子さまの頭が親の胸に、お子さまの臀部が親のウエストの位置にくるように調節してください。余った肩ベルトはウエストバックルでとめておきます。
※肩ベルトの調節はP.1「肩ベルトの調節のしかた」をお読みください。

⚠警告

必ず頭当てをすやすやマットに装着し、頭当てのスリーピングサポート部をDリングに通してホックをとめてください。
ヨコ抱っこの時は、必ず頭当て・すやすやマットをお使いください。

⑨ カバーのホックと、セーフティベルトバックルをはずしておきます。

⑩ お子さまの頭頂部がすやすやマットのガード部に圧迫されない位置に寝かせて、足を左右の足ぐりに通します。
お子さまの頭頂部にガードがあたるときは、お子さまをできるだけ奥深く入れてください。また、お子さまが大変小さい場合は、深さ調節ファスナーを閉じてご使用ください。

⑪ 大人の指4本ほど入るようにヨコ抱っこ用セーフティベルトの長さを調節します。
この時、セーフティベルトをお子さまの脇下にくるようにしてください。ベルトの長さは、成長に合わせてときどき調節してください。

⑫ ヨコ抱っこ用セーフティカバーのゴムにセーフティバックルを通してとめ、カバーをおるようにしてカバーのホックをとめます。

⚠注意

お子さまの出し入れは、安全な場所で必ず腰をひくくした姿勢で行ってください。なお、他の人に手伝ってもらうとより安全です。

⑬ 肩ベルトをかけるときは、本体を置いたままの状態で親の頭をお子さまの方に近づけ、親の頭を肩ベルトにくぐらせ、腕をとおし、ななめ掛けにかけます。
お子さまの安全のために、肩ベルトや本体を持ち上げて肩にかけたりしないでください。

⑭ 肩ベルトを肩にかけたら親のからだを起こします。お子さまの頭部が親の胸に、足が親のウエストの位置にくるように頭部を高くして、お子さまの後頭部と臀部に手をあてて支えます。

⚠警告

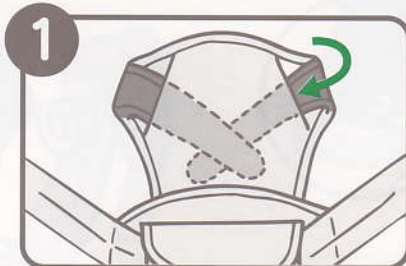
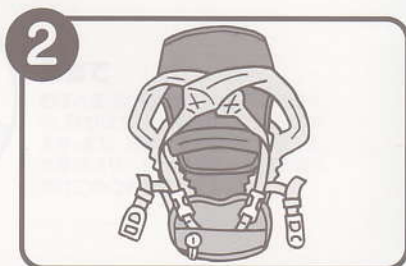
セーフティベルトがきつかったり、ゆるすぎたり、またセーフティカバーを付けないで使用すると、お子さまがずれ落ちる恐れがあります。

はずしかた 装着するときの手順を逆にして行います。はずすときも、他の人に手伝ってもらうとより安全です。

対面抱っこのご使用方法

首がすわってから12ヵ月(体重11.3kg)頃まで

●すやすやマット・ヨコ抱っこ用セーフティカバーはご使用できません。
●スリーピングサポートは赤ちゃんがおねむのときなど状況に合わせてお使いください。
対面抱っこの場合、スリーピングサポートは、12ヵ月(体重11.3g)頃までとしてください。
●深さ調節ファスナーは、お子さまの成長にあわせてご使用ください。
●首のすわらないお子さまには、ご使用できません。

1
頭当てのスリーピングサポート部を収納します。

2
肩ベルトを長めに調節しておき、左右の肩ベルトがクロスするように肩ベルトのバックルを差し込みます。**※肩ベルトバックルのとめかたはP.1「肩ベルトバックルのとめかた」をお読みください。**

3
肩ベルトが背中でクロスするように、左右の肩ベルトに頭と腕をとおします。

4
どちらか一方の肩ベルトを肩からおろします。

5
安全な場所で、親が座った状態で、向きあうようにお子さまを抱き上げ、お子さまの足を左右の足ぐりに通します。

注意
お子さまの出し入れは、安全な場所で必ず腰をひくくした姿勢で行ってください。なお、他の人に手伝ってもらうとより安全です。

6
おろしておいた肩ベルトを肩にかけます。肩ベルトはお子さまの脇の下を通し、お子さまの腕を出してください。

7
お子さまを片手で抱き寄せ、肩ベルトの長さを調節します。余ったベルトの長さは、左右同じにします。

8
余った肩ベルトはウエストにまわし、ウエストバックルでとめます。肩ベルトの余りは使用者によって長さが異なります。肩ベルトの余りが短い方は、おなかの前でとめてください。

9
お子さまを必ず手で支えてください。
スリーピングサポートは、お子さまがおねむのときなど、状況に合わせてお使いください。

対面抱っこの時のスリーピングサポートの装着方法

※スリーピングサポートは赤ちゃんがおねむのときなど状況に合わせてお使いください。

1
2
3

頭当てのスリーピングサポート部を出し、
スリーピングサポート部をDリングに通し、ホックをとめます。

※ホックは必ず2カ所とめてください。
※対面抱っこの場合、スリーピングサポートは、12ヵ月(体重11.3g)頃までとしてください。

はずしかた
装着するときの手順を逆にして行います。はずすときも、他の人に手伝ってもらうとより安全です。
また、お子さまを抱きかかえながら、肩ベルトバックルをはずして、お子さまをおろす方法もあります。

おんぶのご使用方法

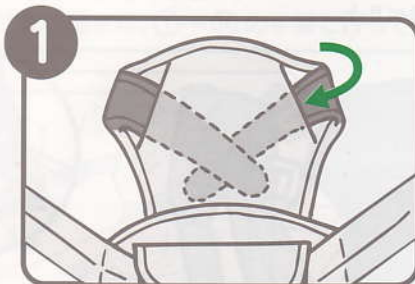
- ●すやすやマット・スリーピングサポート部・ヨコ抱っこ用セーフティカバーはご使用できません。
- ●深さ調節ファスナーは、お子さまの成長にあわせてご使用ください。
- ●首のすわらないお子さまには、ご使用できません。

首がすわってから30ヵ月(体重14.9kg)頃まで

※ブリッジテープをとめることにより、肩ベルトのずれを防ぎます。

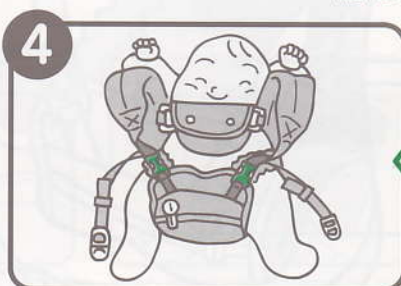
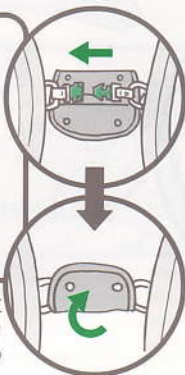
1

頭当てのスリーピングサポート部を収納します。

2

お子さまの足を左右の足ぐりに通して寝かせます。肩ベルトは、お子さまの脇の下を通るようにしてください。※肩ベルトバックルのとめかたはP.1「肩ベルトバックルのとめかた」をお読みください。

3

ブリッジテープをセットします。肩ベルトに付いている左右のDリングにブリッジバックルを通し、バックルをとめます。図のようにホックをとめてください。

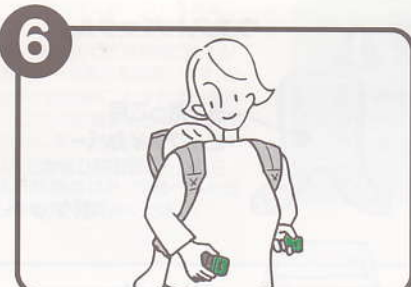
4

図のように肩ベルトのバックルをとめ、リュック式にします。
肩ベルトは、クロスさせないでください。

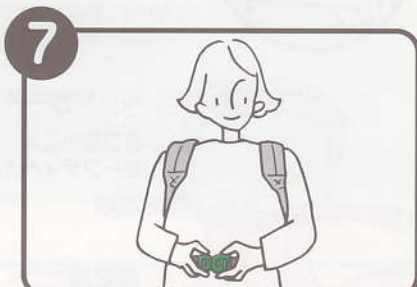
⚠注意

バックル着脱時は、お子さまの皮膚等をはさまないようにご注意ください。

5

親は腰をひくくした姿勢をとります。肩ベルトを持って、お子さまを引き寄せるようにして背中にのせます。左右の肩ベルトに親の腕を通します。

6

お子さまと親の背中が密着するように、左右の肩ベルトの長さを調節します。左右の肩ベルトを同じ長さにします。

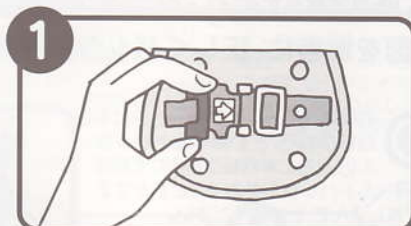
7

余った肩ベルトはウエストにあわせて長さを調節し、ウエストバックルをおなかの前でとめます。ウエストバックルをとめることによって、お子さまのゆれを防ぎ、安定する状態になっています。

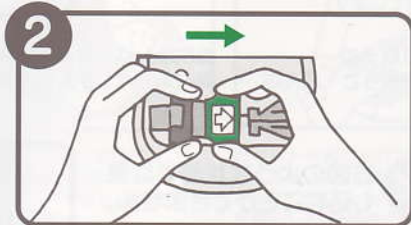
⚠注意

お子さまの出し入れは、安全な場所で必ず腰をひくくした姿勢で行ってください。

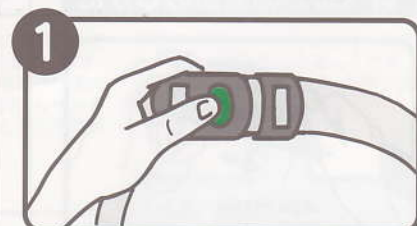
お子さまを背負うとき、おろすときは、他の人に手伝ってもらうとより安全です。

ブリッジバックルのはずしかた

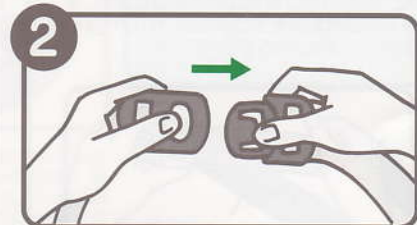
1

ブリッジテープを持ち、図のように指でバックルをしっかり押さえます。

2

矢印があるバックルの側面を持ち、矢印の方向にバックルを動かします。このときカチッと音がするまで動かしてください。ブリッジバックルがはずれます。

ウエストバックルのはずしかた

1

ウエストバックルを持ち、センターのボタン部分を図のように指で押さえます。

2

矢印の方向にバックルがはずれます。

はずしかた 装着するときの手順を逆にして行います。はずすときも、他の人に手伝ってもらうとより安全です。

お手入れ方法

- ●色落ちすることがあります。他のものとは別に洗ってください。
- ●洗濯機、脱水機、乾燥機にかけないでください。
- ●漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は使用しないでください。

※安全基準等により、仕様が予告なしに変わることがあります。
製品には万全を期しておりますが、
お気づきの点がございましたら下記までご連絡ください。

LUCKY INDUSTRY CO., LTD.

〒503-2423 岐阜県揖斐郡池田町青柳83-8　TEL 0585-45-3131　SG基準認定工場第31-001号

03.11